北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	インターンシップⅠ	科目コード	1268	単位数	2
担当者名	玉井　航太	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	G	実務経験	無
ナンバリング	MIn401	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

企業や自治体等での就業体験を通じ、将来を模索する学生が職業意識を高めるとともに、その後の大学生活において自身の進路に即した学習の方向性を見出し、将来へ向けた確かなキャリアを形成できるようになることを目的とします。

到達目標

各職場で与えられた仕事を処理し、役割を果たす中で、自分の能力・適性・知識の中の不足している分野がどこであるかに気付き、認識することができるようになってもらうことを目標とします。このような明確な認識を得て、大学での学習を通した成長をすることで将来の自分の職業探索においてより多くの選択が可能となることでしょう。

授業内容

1週目 ガイダンス（説明会、研修の申込）
2週目 マナー講座
3週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
4週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
5週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
6週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
7週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
8週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
9週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
10週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
11週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
12週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
13週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
14週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
15週目 インターンシップ評価票のフィードバック
16週目 インターンシップ参加報告書レポート

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習については、ガイダンス・講座・毎回のインターンシップ前に1時間程度かけてインターンシップに必要なことを各自が調べておくこと。復習については、ガイダンス・講座・研修を今後の進路につなげるために1時間ほどを費やしまとめること。

成績評価の方法・基準

ガイダンス・説明会への出席状況、実際の研修参加状況(受入先の評価も含む)、所定のインターンシップ参加報告書・課題レポートなどの提出書類の内容によって総合的に評価します。研修参加後にインターンシップ参加報告レポートを提出する必要があることに注意して下さい。

履修上の留意点

本科目は第4セメスターでの履修となりますが、前学期（第3セメスター）に実施されるガイダンスおよびマナー講座の受講は必須の履修条件です。これらの条件を満たさない場合は、本科目の履修登録を行うことができません。また、申請できるインターンシップには所定の要件があり、対象となる実習の条件等はガイダンスで詳しく説明します。年度初めおよびそれ以降にキャリア支援センターから発信される通知を必ず確認し、手続きや準備に漏れがないよう十分に注意してください。

単位認定にあたっては、ガイダンス、マナー講座、評価票のフィードバック、課題レポートの提出も必須です。研修参加に際しては、服装・態度に十分注意して下さい。

課題に対するフィードバックの方法

インターンシップ終了後に企業からの評価表についてフィードバックします。

テキスト

ガイダンスやマナー講座，フィードバックでは適宜資料を配布します。

参考書

完全版 インターンシップの教科書　松高政（編著）ナカニシヤ出版　2200円

更新日付

2026/02/25 04:42